

八ヶ岳高原音楽堂

毎年恒例となっている大好きな八ヶ岳高原音楽堂でのコンサート。今月29、30日の2日にわたって「春、その先へ。」と題した演奏会を行います。

八ヶ岳の中腹、標高1500メートルの高原に建つ八ヶ岳高原音楽堂（長野県南牧村）は自然に溶け込んだホールです。高原リゾート地のホールとして類を見ません。吉村順三さんが設計した建物は三角屋根が特徴で、ホールの壁は大きなガラス、まさに四季折々の風情と一体なっ



©Hideki Otsuka

小山実稚恵 — 145 —

ピアノと私

公演情報

小山実稚恵 ~春、その先へ。Vol.2

シューベルトの最晩年

4月29日(水) 15:00 八ヶ岳高原音楽堂
シューベルト：ピアノ・ソナタ 第19番、第21番

コンチェルト&クインテット

4月30日(木) 15:00 八ヶ岳高原音楽堂
石原悠企／岸本萌乃加 (vn)、柳瀬省太 (va)
築地杏里 (vc)、瀨泰幸 (cb)

ショパン：ピアノ協奏曲第2番(室内楽版)

シューベルト：ピアノ五重奏曲「鱒」

問い合わせ：八ヶ岳高原ロッジ ☎0267-98-2131

日本フィル横浜定期演奏会

5月9日(土) 15:00 横浜みなとみらいホール
小林研一郎(指揮)、日本フィルハーモニー交響楽団
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第3番、ピアノ協奏曲第5番《皇帝》

問い合わせ：日本フィル・サービスセンター
☎03-5378-5911

Étoile(エトワール)~ピアノの星 Vol.5

タイアップ企画 日本フィル杉並定期演奏会

5月10日(日) 15:00 杉並公会堂
小林研一郎(指揮)、日本フィルハーモニー交響楽団
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第3番、ピアノ協奏曲第5番《皇帝》

問い合わせ：杉並公会堂チケットセンター
☎03-5347-4450

小山実稚恵 ピアノ・リサイタル

5月16日(土) 14:00

ハイスタッフホール(観音寺市民会館)

《オールシューベルトプログラム》

即興曲 作品142-2、即興曲 作品90-2

ピアノ・ソナタ第19番、第21番

問い合わせ：ハイスタッフホー ☎0875-23-3939

いてくれたり…。まさかの光景に何度も遭遇しました。そして、本番を終えて見上げる夜空の美しさ。「こんなに星ってたくさんあったんだ」と、こぼれてきそうな星の大きさに目を奪われるのです。八ヶ岳は別天地。毎回東京など遠方から泊りがけで来られる方も多くいらっしゃいます。

今回のコンサートは29日がソロ・リサイタル。シューベルトの最後のソナタ3部作のうち、ピアノ・ソナタ第19番と第21番を演奏します。3曲はシューベルトが亡くなった1828年の春から秋にかけて作曲された、あまりに美しく特別な意味を持つ大傑作です。

30日はコンチェルトとクインテット。若手5人との共演です。コンチェルトはショパンのピアノ協奏曲第2番の室内楽版。もう1曲はシューベルトのピアノ五重奏曲「鱒」です。第4楽章がシューベルトの有名な歌

曲「鱒」と同じ旋律を使っているため、このピアノ五重奏曲も「鱒」と呼ばれます。シューベルトが生きた時代、オーストリアの川や湖では透明な水の中を泳ぐ鱒はどこでも見られたでしょう。なんと八ヶ岳にも鱒は生息しているようです。曲を聴きながら自然の情景も思い浮かべてもらえたら嬉しいなと思っています。

八ヶ岳高原音楽堂という、いくつかの失敗を思い出します。ホテルの清算をし忘れて帰宅してしまったり、ホテルの鍵を持ったまま帰ったの。朝食のレストランでは取り出すのを忘れたパンが真黒焦げに、トイスターからモクモクと出た煙を見たホテルの方に「爆弾かと思いましたよ」と言われてしまったこともありました。素敵なホールと、私の情けない数々のハプニングが結びついた八ヶ岳高原音楽堂。今年もとても楽しみにしています。



KOYAMA MICHIE 東京藝大卒、同大学院修了。1982年チャイコフスキー国際コンクール第3位。85年ショパン国際ピアノコンクール第4位。「12年間・24回リサイタルシリーズ」(2006~17年)や「ベートーヴェン、そして…」(19~21年)は、その演奏と企画性で高い評価を受けた。2022年より、サントリーホール・シリーズ「Concerto(以心伝心)」に続き、ソロ・リサイタルのシリーズ(未来永劫)を開催する。ショパン、チャイコフスキーの二大コンクールなどの審査員も務める。17年度紫綬褒章を受章。仙台での「こどもの夢ひろば」のゼネラル・プロデューサーを務める。